

視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( 13 ) 議員名 ( 渡邉孝一 )

11.  
130年 8月 27日 ~ 29日

(日数 2泊3日)

2 場 所 新潟県 魚沼市

3 視察、研修事項 新庁舎建設の経緯について

4 面 接 者 武藤直文財政課管財室長、渡辺和雄財政

5 視察研修、研修会の成果

課長  
青柳洋介財政課  
新庁舎建設係長

魚沼市は、平成16年11月1日、2町4村による対等合併を行った。

庁舎は、各旧町村の庁舎を利用する「分庁舎方式」を採用了。

平成19年度～平成20年度に庁舎再編市民検討委員会を設置。

庁舎再編にあたり、サービスの受け手である「市民の立場、目線」で考え方をまとめる必要があるため、公募による20名の委員とアドバイザー3名の「市庁舎再編市民検討委員会」を設置。「新增築や位置、規模等は今後の検討とし、庁舎を1か所にまとめることが望ましい」とした「市庁舎再編に関する検討報告書」を市へ提出。

平成30年6月20日から平成32年3月20日の工期で新庁舎建設が開始される。

総建設費30億円。財源は合併特例債95%、庁舎建設基金5%、一般財源5%となる。

矢板市においても安全に安心して利用できる庁舎の建て替えへの年次計画を早急に立てる必要がある。

視察研修・研修会等報告書

H.  
130年 8月 27日~29日

議席番号 ( 13 ) 議員名 ( 渡邊孝一 )

(日数 2泊 3日)

2 場 所 新潟県燕市

3 視察、研修事項 空き家対策について

4 面 接 者 幸田 博 議会議務局長、深澤賢一 都市計画課

5 視察研修、研修会の成果

課長補佐  
相馬建 空き家等対策推  
進室主任

燕市は平成18年燕市、吉田町、分水町が合併する。

住民からの空き家問題に対する不安や危機感が非常に大きくなり一刻も早い対策が求められていた。平成25年7月1日に「燕市空き家等の適正管理及びまろな居住促進に関する条例」を施行し、空き家対策への取り組みを続けてきた。

国は平成27年5月26日「空き家対策の推進に関する特別措置法」を全面施行する。

燕市の空き家に関する施策は

1. 発生抑制の促進

次世代への引継ぎ、活用の働きかけ

中古住宅の良質化

2. 適切な管理の促進

所有者等の当事者意識の醸成及び強加

関係者団体との連携

3. 空き家及び跡地の活用の促進

関係事業者団体との連携による情報提供等の

仕組づくり

空き家及び跡地の活用に対する支援

#### 4. 特定空き家等への対応

特定空き家等の対応に係る基本的な方針

必要な措置を講ずる際の具体的なつり等

以上空き家に関する具体的な対策が施行されている。

空き家 空き地解消のため「使うこと」のために5種類の補助制度が設立されている。

矢板市も、人口、世帯数の減少に転じている中空き家の老朽化を防ぎ、新たな活用へと繋げるために、人口対策や雇用対策等と連携を図りながら、より総合的に取り組む必要がある。

視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( 13 ) 議員名 (

渡邊 孝一 )  
(日数 2泊3日)

H.  
130年 8月 27日 ~ 29日

2 場 所 新潟県 三条市

3 視察、研修事項 中心市街地活性化対策について

4 面接者 渡辺一美 議会事務局長、中村健太 中心市街地

5 視察研修、研修会の成果 活性化推進室主任

平成17年5月1日に三条市、栄町、下田村の三市町村が合併し新「三条市」が誕生した。

三条市では、昭和45年のまろなか居住人口は41,420人であった。平成26年には15,929人まで減少した。そこで中心市街地活性化の取り組みのひとつとして「TREE」の事業が行なわれた。

間口4間の奥行きがある市民家を利用して、施設に入っただけにコーヒーショップとの奥に畳の部屋があり会合などに貸し出している。更に中庭を望む小部屋は創作作品が展示してある。工間を奥に進むと赤レンガの倉庫を改造したレストランがある。

平成29年の施設への来館者は33,204人であった。

矢板市では、駅西地区を中心市街地/活性化地域として、TMOの認定をしているが、駅前通りや本通りに當ての賑わいはない。